

2017年日光国立公園マウンテンランニング大会

モニタリングレポート

1.大会概要

大会名 日光国立公園マウンテンランニング大会
主催 日光トレイルランニング実行委員会
期日 平成29年11月12日(日)
場所 日光市山内地区から霧降高原にかけての山域
参加人数 約900名(10k、30k全体)

2.環境・利用影響モニタリング

地点名	地点位置	選定理由	モニタリング方法
1	外山山頂からの下り地点	1路面にぬかるみが生じる懸念がある 2急な斜面での枝折れの懸念	大会前後写真および土壌高度計 目視によるコース上の木々の確認
2	丸山からの下り地点	1下り基調の登山道、S字カーブ箇所 2路面洗掘や削れの恐れ	大会前後および土壌高度計 目視による路面の確認
A	キスゲ平園地付近	一般観光客も多数利用している場所 のため	大会当日登山者、一般利用者へのヒアリング

選定理由:

上記地点は環境省と事前に地点を確認した上で選定をしたが、地主との調整が取れず当初の地点より計測箇所を減らして行うこととした。次回大会では、地元調整は余裕を持って行うようにする。

2.環境・利用影響モニタリング

1. 外山山頂からの下り地点

<大会後の調査結果・考察>

大会実施前後において土壌高度計計測による大きな変化は見られなかった。
また、急な下り斜面である為に選手が枝を掴むことによって懸念していた枝折れについても事後、見受けられなかった。

- ・実施前 15mm 3kg/cm²
- ・実施後 15mm 3kg/cm²

計測日時 実施前 11/6
 実施後 11/13

緯度36.765659
経度139.602486



大会実施前



大会実施後



2.環境・利用影響モニタリング

2. 丸山からの下り地点

<大会後の調査結果・考察>

1.同様大会実施前後において土壌高度計計測による大きな数値の変化は見られなかった。

2.実施前後の写真では笹が倒れて路面が拡張されているように見受けられるが大会前の草刈りによるものである。

- ・実施前 22mm 9.7kg/cm²
- ・実施後 22.5mm 9.8kg/cm²

計測日時 実施前 11/6
 実施後 11/13

緯度36.483059
経度139.352280



大会実施前



大会実施後



2.環境・利用影響モニタリング

A. 大会当日登山者、一般利用者へのヒアリング [質問編] 1-1

A.利用影響モニタリング ※18名対象

	はい	いいえ	無回答
1、本日、マウンテンランニング大会が開催されている事を知っていたか。	8	9	1
2、今日のマウンテンランニング大会でランナーや応援者のマナーなどで気になった事があったか。	—	13	5
3、マウンテンランニング大会を行う場合どのような事を気にしてほしいか。	別紙参照	別紙参照	別紙参照
4、大会に係る道しるべなどにより、混乱しなかったか。	18	—	—
5、大会関係者が集まっている場所において通行や休憩に支障が出ていなかったか。	15	1	2
6、今日のマウンテンランニング大会でランナーと接触しそうになったなど、何か通行上のトラブルがあったか。	—	18	—

2.環境・利用影響モニタリング

A. 大会当日登山者、一般利用者へのヒアリング [回答編] 1-2

1、本日、マウンテンランニング大会が開催されている事を知っていたか。

- ・大会開催を事前に知っていた方は選手の応援に来た方またはHPなどで事前に情報収集していた方がほとんど。
- ・どんな大会かは詳しくは分からないが[何かやってるな]程度に把握している方もいた。

2、今日のマウンテンランニング大会でランナーや応援者のマナーなどで気になった事があったか。

- ・特にコメントなし

3、マウンテンランニング大会を行う場合どのような事を気にしてほしいか。

- ・交通整理
- ・通行人との交錯
- ・公共の場であるということ

4、大会に係る道しるべなどにより、混乱しなかったか。

- ・かえていつも以上に目印がついていて安心した

5、大会関係者が集まっている場所において通行や休憩に支障が出ていなかったか。

- ・気を遣ったのは事実だが毎日開催してるわけじゃないし年に一度程度ならいいのでは？

6、今日のマウンテンランニング大会でランナーと接触しそうになったなど、何か通行上のトラブルがあったか。

- ・接触とかはなかったが普段よりも多くの人にすれ違い挨拶に疲れた。

3.大会実施付近天気情報

年月日	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	奥日光 (日光)	今市	今市	今市	今市	今市	今市
	降水量の合計(mm)	降水量の合計(mm)	降水量の合計(mm)	降水量の合計(mm)	平均気温(C)	平均気温(C)	平均気温(C)	降水量の合計(mm)	降水量の合計(mm)	降水量の合計(mm)	平均気温(C)	平均気温(C)	平均気温(C)
		現象なし情報	品質情報	均質番号		品質情報	均質番号		品質情報	均質番号		品質情報	均質番号
2017/11/1	0	1	8	1	5.9	8	1	0	8	1	9.1	8	1
2017/11/2	0	1	8	1	7	8	1	0	8	1	11.9	8	1
2017/11/3	0	1	8	1	8.6	8	1	0	8	1	13.2	8	1
2017/11/4	0	0	8	1	6.4	8	1	2	8	1	10.4	8	1
2017/11/5	0	0	8	1	2.9	8	1	0	8	1	7.4	8	1
2017/11/6	0	1	8	1	5.5	8	1	0	8	1	9.1	8	1
2017/11/7	0	1	8	1	7.9	8	1	0	8	1	11	8	1
2017/11/8	0	0	8	1	9.5	8	1	0	8	1	11.5	8	1
2017/11/9	0	0	8	1	4.5	8	1	0	8	1	10.2	8	1
2017/11/10	0	0	8	1	4.7	8	1	0	8	1	7.7	8	1
2017/11/11	2.5	0	8	1	5.6	8	1	0	8	1	8.7	8	1
2017/11/12	0	1	8	1	1.7	8	1	0	8	1	6.1	8	1

大会開催前日に奥日光地域にて多少の降水があったが大会開催の可否にかかるような注意報、警報何れも出ていなかったもので予定通り大会を開催した。

※気象庁HPより情報収集

4.大会前後清掃状況



場所:見晴台周辺

参加者:実行委員会、ボランティア

大会開催の1週間前にコースのゴミ拾いを行った。

ゴミは、数十年前のものが多くコース脇にたくさんのプラスチック、空き缶、瓶などが散財していた。

ボランティアも含め回収を行い約8~10袋のゴミが集まった。今後も環境がより良くなるように地域住民と活動を行っていく。

5.総括

平成29年3月に環境省より「国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引きについて」(以下モニタリングガイドライン)が発表され、本大会でも初めてモニタリングを環境省と協力し実施した。

当日は選手900名が日光の山々を駆け巡り、霧降高原周辺の登山道および林道を利用した。当初モニタリングの計画面では、登山道などで路面洗掘や枝折れの懸念があり事前に計測を行った。大会後の計測では、ところどころ踏み跡らしき箇所は見受けられたが、登山道として大きなダメージを受けている箇所は見受けられなかった。また、ルート以外での走行はなく植物へのダメージも少なかったと言える。しかし、所々で選手が落としたであろう、スポーツドリンクなどの紙くずがあった。これに関しては、大会後実行委員会スタッフで清掃を行い環境整備に務めたが、次年度の大会では選手に対しよりゴミを落としたり、捨てないように徹底を促していく。

その他の課題として、モニタリングのやり方の見直しが必要であった。初めての実施ということで、事前の計画面やその後の資料をまとめるところで反省があった。次年度以降では、実行委員会のメンバーが複数人で確認し、事前に余裕を持ったスケジュールでモニタリング調査を行なっていく。

今回モニタリングを行なったことで、環境に対する関心が深めることができた。

日光の自然は国立公園としても非常に貴重な資源と言える。今後、私たちは人と自然の関わり方を模索していくためにもよりしっかりとした調査方法を模索していく。そして、環境を考えながら実施し、地元や国内外の方々に指示されるような大会として成長し、日光へ還元していきたいと思う。

日光トレイルランニング実行委員会 担当 大嶋